

2021年度第1回教育イノベーション大会運営委員会議事録

I. 日時 令和3年7月10日(土) 14:00~16:00

場所 Zoom 会議室

II. 出席者 向殿委員長、二瓶委員、望月委員、今泉委員、大島委員、阿部委員、小林委員、菱山委員、原田委員、寺田委員、尾崎トバ伊、木村トバ伊
事務局：井端事務局長、野本

III. 委員の紹介

今年度から委嘱の委員が2名おり、名簿順に紹介を行った。

IV. 検討事項

1. 2021年度「私情協 教育イノベーション大会」の開催要項案について検討を進めた。

(1) 開催日、開催趣旨について確認がされた。

- ・ 今年度は、9月6日、7日、8日にオンラインで開催することにした。
- ・ テーマは、「新しい学びの創出に向けたDX化と人材の育成」とし、世界の中で競争力の低下、コロナ禍、Society5.0社会などから、学生に裁量の学びの場を開発・提供するため、オンラインとリアルな教育を組合せてDX化を進め、どのようにしたら学生が満足する教育ができるのか、また、社会全体の人材育成のため社会人の学び直しなどについて考察を行い、理解の促進を図ることにした。

(2) 全体会について確認がされた。

- ・ 全体会は、講演形式で進め、①DX化とAI教育への国の取組み、②DX化による大学教育変革、③日本の競争力強化への人財育成、④オンライン大学間連携、⑤ハイブリッド型授業、⑥社会人の学び直しへの国の取組みの構成案が提示され、内容が確認された。
- ・ 午前中の①~③の順番について、社会課題→国の方針→大学の対応の順に説明した方が一般的ではないかとの意見があったが、教職員の立場としては、文部科学省からの説明から入った方が良いとの意見があり、変更はしないことにした。また、文科省の説明から始まり、文科省の説明で終わる形ことはおさまりが良いとの意見であった。
- ・ ハイブリッド型授業には興味があり、質問が多くあるのではないかと指摘があり、後ろの休憩時間を延ばすことで予備時間を確保するよう変更することにした。

(3) 分科会について確認がされた。

- ・ 分科会は、オンライン2会場で8つの分科会を構成した。会場1は教員向けをイメージし、会場2は職員向けをイメージした。
- ・ 各分科会は、A:DX化への試み、B:質保証・学修成果DX化、C:著作権法改正・補償金制度、D:就活支援、E:AI人材育成支援、F:データ活用力育成、G:リカレント教育、H:インターンシップの構成・概要が確認された。
- ・ 情報提供・講演は、1講師が説明と質疑応答し、次の講演者の段取りとしており、テーマにより細かな質問が出る可能性が考えられ、司会運営の時間管理で苦勞する場面も想定される。

(4) その他

- ・ 3日目の発表について、まだまだ申込が少ないことから、締切を延長することにした。その上で、次回の委員会で発表者を確定することにした。
- ・ 参加費を昨年度の設定より、大学単位を減額することで確認がされた。

V. 今後のスケジュール

開催要項は、講演者の確認が出来次第確定し、発信することになっている。また、次回の運営委員会は、8月3日に開催し、発表者確定と役割分担について検討することにした。